

特集

企業と事業所をつないで障害者の自立を支援

ワイズイノベーション株式会社

当所と富山市が主催し、創業・設立から間もない優れた成長企業を表彰する富山市ヤングカンパニー大賞。令和3年度の優秀賞にはワイズイノベーション株式会社を選ばれました。「セラミダ」という物質を特殊加工して抗菌・脱臭効果が高く、花粉、ダニなどを除去できるフィルターを開発、これを活用した商品を製造販売するとともに、障害者の自立支援プロジェクトとして、自社や企業の作業手順を可視化するなどタスク管理し、就労継続支援A型・B型事業所へ人材をつなぐ事業も行っています。代表の奥井良樹さんに話を伺いました。

「セラミダ」で抗菌・脱臭

奥井さんは建設業界で19年間働いた後、2012年に独立。しばらくはウェブマーケティングを力を入れ、顧客のウェブサイトを



▲「ワイズイノベーション」代表の奥井良樹さん

作成するなど、商品の宣伝などをしていた。その後、環境事業として「セラミダ」という物質を生かしたフィルターや塗料を製造・販売するようになり、セラミダには不快な臭いの原因となるタンパク質を吸着し、水と炭酸ガスに分解する働きがあります。

「創業してから」いつか独自の製品を」と思っていました。現在、セラミダの関連商品はオンラインでの販売実績が伸び、抗菌・脱臭効果についての問い合わせも増えています。セラミダを使った「セラミダフィルター」は、さまざまな家電製品などに活用されるようになり、病院や介護施設、放課後デイサービス施設などでの現場で活用されています。セラミダフィルターを用いた製品を導入した施設では新型コロナウイルスの感染者は出ていないとのこと。奥井さんは「セラミダを活用した商品を、自信を持ってお勧めできます」と話します。

ニーズが商品価値を高める

セラミダを活用し、ペット用品や靴の脱臭ができるグッズ、エアコ

ションの社員は奥井さんを含め7人です。「こころ」の社員は23人でこのうち20人が障害者です。奥井さんはプロジェクトについて次のように話します。

「例えば障害のある方に冷たいビールを飲むまでの手順を説明するために動作を全て書き出すと何項目あると思いますか？なんと26項目にも上ります。『左手でグラスを持つ』『右手でピンを持つ』『その右手を水平より10度傾げる』など細かい指示が必要です。作業を細分化することで理解でき、不注意によるミスが減ります」

このように作業を分解し、手順を書いたマニュアルを作成、一人ひとりについてどこまで作業ができるかどうかを確認するため、「×（できない）」「△（手伝いがあればできる）」「○（一人でできる）」「◎（指導できる）」など、評価します。作業を可視化してタスク管理することで、障害者は役割を理解し、集中して臨むことができます。



▲障害者が活躍する当社の作業の様子

ットし、靴を脱臭する商品にするなどの作業もあります。このように自社製品を作る工程も障害者支援プロジェクトの一環となっているのです。

繰り返しの自立

障害者支援プロジェクトにより、障害特性から覚えることが苦手な人でも作業できています。作業に集中し、達成感も目に見えます。その一歩一歩が自立支援の歩みなのです。「やりがい」や「働きたい」が実感できます。時間はかかりますが、品質を重視し、仕事に取り組みやすい環境を作っていくことで自立につなげていきます。

「自立支援というのは期限を決めるのが難しいものです。そういった中で私達は品質管理だけをきちんと決めていきます。無理に窮屈な期限を決めないで、とにかく確実に一つの商品を作るように見守ります。比較するのは昨日の自分であり、繰り返ししていけば自立につながる。あきらめなければ必ず成長すると信じています」

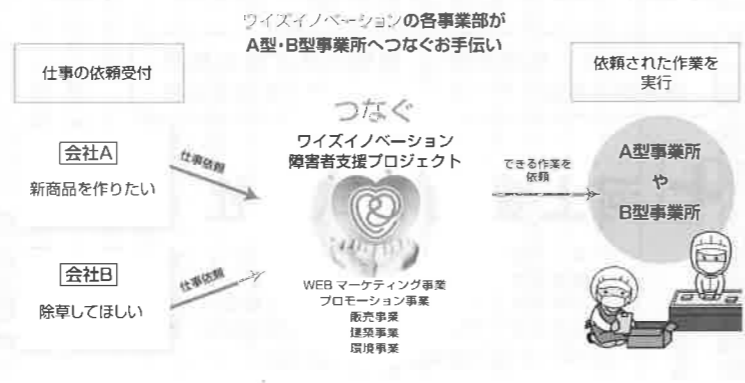
プロジェクトではほかの企業と連携し、ワイズイノベーションがタスク管理のためのマニュアルを作成しつつ、作業を請け負っています。社外から委託された作業は従業員寮の清掃、配線皮むき、道路安全用品の製作・梱包、稲の苗出し、衛生用品の製作・梱包などです。さらにはできる作業をA型事業所やB型事業所

ン・空気清浄機用の商品を販売。製品の利用者から好評を得てきました。近年、新しい商品として人気なのはスーツカバーと、枕カバーだそうです。また、医療用ニーズを受けて、ストーマ（人工肛門）のカバーなども商品化を検討しています。商品のベースとなっているセラミダフィルターは、特殊な加工をした繊維です。ので、用途に合わせて形を変え、狙った効果が得られます。

「一番、効果がよく分かるのは、車のエアコンフィルターです。しかし、現在販売していないので、家庭エアコン用のセラミダフィルターなどをカットして装着することをお勧めしています。その方法は、ブログやYouTubeで発信しています」

2021年度はネットと代理店販売の売上高は、ほぼ同額でした。しかし、点数では98対2ぐらいいとなりました。コロナ禍により、対面での営業が減ったことが理由です。セラミダを使った商品が、どのような場で生かされていくのか。奥井さんはユーザーからのアイデアやニーズが今後の商品価値を高めてくれると感じています。

障害者支援プロジェクトの概要



に依頼することで、幅広い支援体制ができます。

SDGsに参加できる

障害者支援プロジェクトへの参加の流れとしては、まずホームページから商品を購入してもらいます。障害者への賃金は製作費として一つの商品ごとに単価を決めて支払っています。

このほか、商品の販売で得た収益金の一部を製作費とは別に100円から300円、障害者の賃金に当てています。商品を買うことが支援になるのです。

「海外では障害者支援の意識が高いと感じます。商品を買ってくれた海外の企業は、それが障害者支援になると知ると励ましのコメントをくれます。それをオンラインで紹介しています。支援の輪が広がり、対話できます」

ワイズイノベーションはSDGs（持続可能な開発目標）に取り組みしており、作業を依頼した企業もSDGsに参加することになります。申請フォームから登録すると「障害者支援プロジェクト」の認定証が発行されます。このプロジェクトのロゴには「つながる絆」と「ぬくもりのある平和な暮らし」への思いが込められているそうです。

皆さんも障害者支援の協力者になりませんか。

同封のチラシ
障害者支援プロジェクト
「つながる絆」
をご覧ください。

General trading company
ワイズイノベーション株式会社
innovation

○事業内容
環境・WEBマーケティング・建設・福祉事業

富山市下大久保3382-3
モアクレスト風3E
☎076-468-3578

障害者支援プロジェクト
申請フォーム
「障害者と共に社会に
新しい付加価値の創造」

ニオイや菌を吸着して
分解 消臭
除菌
特許取得技術
セラミダ

作業を可視化したタスク管理

ワイズイノベーションは当初、ウェブマーケティング、建築事業、そしてセラミダの活用をメインとした環境事業と、主に三つの柱で事業展開してきました。しかし2016年、グループ会社として「就労継続支援A型事業所株式会社こころ」を立ち上げ、福祉事業も運営しています。このたび、ワイズイノベーションの福祉事業部として「こころ」と連携し、「障害者支援プロジェクト」をスタートしました。ワイズイノベ